

令和4年度 JSPO 公認

スタートコーチ養成講習会 報告書

1. 日時場所

令和4年6月23日(木) 9時～18時 琉球大学第二体育館講義室

2. 受講生及び講師・運営

受講生

末吉 哲	大森 博文	比嘉 遼汰郎
照屋 靖	名嘉山 加奈恵	金城 量貴

講師・運営

三輪 一義	琉球大学 JHA 指導普及本部長(常任理事) 沖縄県ハンドボール協会 副理事長	講師(共通 2.3)
仲田 好邦	名桜大学 JHA 発掘育成委員長 沖縄県ハンドボール協会 普及指導委員長	講師(専門 1.2)
棚原 崇	琉球大学教育学部附属中学校 沖縄県ハンドボール協会 強化委員	講師(専門 3)
小野 敬道	名護高校 沖縄県ハンドボール協会 普及指導委員	運営

3. 講習会内容(担当講師)

(1) 沖縄県ハンドボール協会 会長挨拶 宮城 靖

(2) 場作り(仲田) アイスブレイク・自己紹介

(3) コーチに求められる能力(仲田)

3.1 コーチング哲学

3.2 コーチングスタイル

3.3 選手とのコミュニケーション

(4) ハンドボールの競技特性(仲田)

4.1 競技規則

4.2 攻撃に関する主なルール

4.3 防御に関する主なルール

4.4 相手とのかけひき

4.5 確認テスト



(5) 発育・発達から見る一貫指導(仲田)

- 5.1 ハンドボールのゲームが上手くなる過程
- 5.2 発育発達段階に合わせた指導の重要性
- 5.3 これからの時代に求められる能力と指導法
- 5.4 確認テスト

(6) 現場における危機管理

～怪我のリスクから選手を守る～(柵原)

- 6.1 ハンドボールにおける怪我のリスク
- 6.2 怪我の発生
- 6.3 怪我の予防(BASIC7)

(7) 現場における危機管理

～熱中症・感染症のリスクから選手を守る～(柵原)

- 7.1 感染症
- 7.2 熱中症
- 7.3 アレルギー(アナフィラキシー症状、エピペン)
- 7.4 確認テスト

(8) 指導者の役割と責任

～スポーツインテグリティの視点から～(三輪)

- 8.1 Sports Integrity
- 8.2 スポーツにおけるハラスメントについて
- 8.3 様々な意見を踏まえて

(9) コーチ自身の成長計画を立てる



4. 受講生の感想(一部抜粋)

○今回、この講義を受講し、よりスポーツ指導に対する本質的な概念に触れることで、自分の価値観や指導観は、常に変化させていくべきことだと実感しました。講義の中でも、印象的だったのが、体罰の話で「他人を育てるために、自分の人生を終わらせますか?」という言葉です。これからの自分の指導の中で、忘れることなく、大切にしたいと心に刻もうと思います。

○子どものため、将来のためなどと言っていたことは、自分のエゴに過ぎない。子どもや選手を対象物ではなく、1人の人として尊重しなくては行けないと改めて考えさせられました。時間が掛かるかもしれませんが、恐怖からではなく、信頼され指導力のあるコーチを目指そうと強く思いました。今日はとても勉強になりました。やはり勉強する機会が必要です。

○良い意味で選手の内面から変える指導をし、教え子が指導者になったときにお手本となれるような指導者を目指していきたいです。ありがとうございました。



報告書作成 小野 敬道(普及指導部)